

「読む」「書く」「考える」をシームレスに支援する ダイナミックなテキストエディタの開発 - 文の構成を視覚的に扱うソフトウェア - 開発者 徳井 直生 (フリー)

本テキストエディタは、文章の構成を考える過程と、実際に文を書く(打ち込む)作業とをソフトウェア上でシームレスに統合することを目指す。そのため、通常のテキスト編集画面に加えて、文章に含まれる意味要素の相互関係を示すグラフィカルな表示画面を用意した。グラフィック表示では、2次元平面上のオブジェクトとして情報の要素を表現する。これらのオブジェクトは、相互の関係性(類似性、順序など)に応じて規定されるオブジェクト間の力によって画面上でダイナミックに位置関係を変化させる。

ユーザは、メモを書いた「カード」を並べるような感覚で、文章の構成を練ることができる。グラフィック画面での操作は、文章に即座に反映される。本システムは、従来のエディタに比べて以下の点で優れていると考えられる。

- 文章の構成を考える過程の支援
- 複数のページをまたいだ内容の比較、
- 直感的な書類内のナビゲーション
- 一覧性の高い語句検索

